

## 安全データシート

### 1. 化学品および会社情報

化学物質等の名称	ジメチルグリオキシム
製品名	ジメチルグリオキシム
整理番号	ZC19003-02
会社名	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
緊急時の電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
推奨用途および使用上の制限	金属の配位子
原産国	インド

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	-
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4
環境に対する有害性	-

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

#### ラベル要素

#### 絵表示またはシンボル



#### 注意喚起語 危険有害性情報

警告

H302 飲み込むと有害

#### 注意書き

##### 【安全対策】

- P264 取扱い後はよく手を洗うこと。  
P270 この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。

##### 【応急措置】

- P301+P330+P312 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。  
P304+P340+P312 吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。  
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。つぎに、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。  
P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合: ただちに汚染された衣類をすべて取り除き、石けんを用い、皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断、手当てを受けること。

##### 【保管】

- P403+P404+P410 容器は密閉して、直射日光を避け、換気の良い場所で保管すること。

##### 【廃棄】

- P501 焼却または、内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

#### 他の危険有害性

情報なし

### 3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
-------------	------

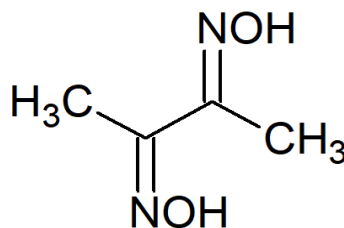
化学名または一般名  
別名

ジメチルグリオキシム  
ブタンジオンジオキシム、2,3-ブタンジオンジオキシム、ブタン-2,3-ジオンジオキシム、N,N'-ジヒドロキシ-2,3-ブタンジイミン、N,N'-ジヒドロキシブタン-2,3-ジイミン、Dimethylglyoxime, Butanedione dioxime, 2,3-Butanedione dioxime, 2,3-Dioxime, Butane-2,3-dione dioxime, N,N'-Dihydroxy-2,3-butanediimine, N,N'-Dihydroxybutane-2,3-diimine

分子式 (分子量)

C<sub>4</sub>H<sub>8</sub>N<sub>2</sub>O<sub>2</sub> (116.12)

化学特性 (示性式または構造式)



CAS番号  
官報公示整理番号

95-45-4

化審法：(2)-541

安衛法：公表化学物質(化審法番号を準用)

分類に寄与する不純物および安定化添加物  
濃度または濃度範囲

情報なし  
94.0 %以上

#### 4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動する。  
窮屈な衣類は緩め、呼吸しやすい安楽な姿勢で休息させ、必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行うこと。

皮膚に付着した場合

気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
衣類にかかっている場合はただちに脱がせ、付着した部位を石けんを用い、流水またはシャワーで15分以上洗うこと。

眼に入った場合

医師の診断、手当てを受けること。  
水で15分以上注意深く洗うこと。つぎに、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、その後も洗浄を続けること。  
痛みがあっても目を擦らず、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

多量の牛乳または水を飲んで薄め、口をすすぐこと。  
無理に吐かせないこと。  
ただちに医師に連絡し、診察を受けること。

予想される急性症状および遅発性症状の最も重要な兆候および症状  
応急措置をする者の保護  
医師に対する特別注意事項

知見無し  
ゴム手袋、密閉ゴーグル等の保護具を着用すること。  
情報なし

#### 5. 火災時の措置

消火剤  
使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性

水、水スプレー、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素。  
情報なし  
火災、加熱により容器が爆発する恐れがあるので、その危険性に応じ、離れた距離から消火する。

特有の消火方法

燃焼や高温により有害なヒュームを発生する恐れがある。  
消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じて適切な消火方法を用いる。  
関係者以外は安全な場所に避難させる。  
水を噴霧して、容器および周辺を冷却する。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
水スプレーにより、周辺を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、耐熱性防護服を着用する。  
放水などにより、環境に影響を及ぼす物質の流出を防ぐ。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

ただちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、風下の人を避難させ、作業は風上から実施する。  
すべての着火源を取り除く。  
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
関係者以外の立入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項  
 回収・中和  
 封じ込めおよび浄化方法・機材  
 二次災害の防止策

密閉された場所では立ち入る前に十分に換気する。  
 漏出物が河川や下水に排出されないようにする。  
 掃き集めて空容器に回収する  
 漏れを止める。  
 すべての発火源、着火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。  
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止および保護措置』に記載の設備対策を行い、適切な保護具を着用し、換気の良い場所で、風上から作業する。 労働安全衛生法などの関連法規に準じて作業する。 『8. ばく露防止および保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行い、局所排気内で粉じんやエアゾールが発生しないよう注意して取り扱う。 皮膚、眼、口や衣類に付着しないように留意すること。 取扱い後はよく手を洗い、充分にうがいすること。 環境への放出を避けること。 『10. 安定性および反応性』を参照。 情報なし
	局所排気・全体換気	
	安全な取扱いのための注意事項	
	接触回避 衛生対策	
保管	技術的対策 混触危険物質 安全な保管条件	特別に技術的対策は必要としない。 『10. 安定性および反応性』を参照。 混触危険物質から離して保管する。 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で保管すること。 情報なし
	容器包装材料	情報なし

## 8. ばく露防止および保護措置

管理濃度 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		設定されていない
	日本産衛学会(2009年版) ACGIH(2009年版)	設定されていない 設定されていない
設備対策		随所に換気装置を設けること。作業場の近くに洗眼および身体洗浄用の設備を設けること。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚および身体の保護具	状況に応じて防毒マスク、簡易防毒マスクなど 保護手袋(ネオプレンゴム、ブチルゴムなどで浸透性のないもの) 保護眼鏡、ゴーグルなど 保護衣、長靴など 情報なし
衛生対策		情報なし

## 9. 物理的および化学的性質

物理状態	結晶～粉末状の固体
色	灰色を帯びた白色
臭い	無臭～特異臭
臭いの閾値	情報なし
融点	239 °C
凝固点	情報なし
沸点または初留点および沸点範囲	情報なし
燃焼性	情報なし
爆発下限および上限/引火限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	240 °C
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	水に微溶(0.6 g/L) トルエン、エーテル類、アルコール類、アセトンに可溶 クロロホルムに難溶
n-オクタノール/水分配係数(log Pow)	-2.16 ~ -0.29
蒸気圧	情報なし
密度および/または比重	500 kg/m <sup>3</sup>
蒸気密度	情報なし
粒子特性	情報なし
粉じん爆発下限濃度	情報なし
最小発火エネルギー	情報なし
体積抵抗率(導電率)	情報なし

## 10. 安定性および反応性

反応性  
化学的安定性  
危険有害反応性の可能性

通常の状態では安定。  
情報なし  
特別な反応性は報告されていないが、可燃性なので強熱により燃焼、分解することがある。  
強熱、裸火の接触。強い衝撃や摩擦。混触危険物質との接触。  
酸化剤、強酸、還元剤  
強熱、燃焼により二酸化炭素の他、有毒の一酸化炭素、窒素酸化物を生成する可能性がある。

避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害性のある分解生成物

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口  
経皮  
吸入: ガス  
吸入: 蒸気  
吸入: 粉じん および ミスト  
皮膚腐食性/刺激性  
眼に対する重篤な損傷性/刺激性  
呼吸器感受性  
皮膚感受性  
生殖細胞変異原性  
発がん性  
生殖毒性  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
誤えん有害性

ラットにおいて LD<sub>50</sub>: 250 mg/kg (RTECS)のデータがあり、これから LD<sub>50</sub> > 300 mg/kgと推察されるので区分4とした。  
情報なし  
分類対象外  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
mtr-ham-emb 100 μg/L  
IARCおよびNTPのリストに不記載、情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)  
水生環境有害性 長期(慢性)  
残留性/分解性  
生態蓄積性  
土壤中の移動性  
n-オクタノール・水分配係数  
土壤吸着係数(K<sub>oc</sub>)  
ヘンリー定数(PaM<sup>3</sup>/mol)  
オゾン層への有害性

情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
-2.16 ~ -0.29  
情報なし  
情報なし  
情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物  
汚染容器および包装

適切な保護具を着用し、国内規制および地方条例に従って処理する。  
可燃性溶剤に溶解し、スクラバーつき焼却炉で少量ずつ焼却する。  
あるいは都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。  
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に洗浄、除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制  
国内規制  
特別安全対策  
その他の注意  
緊急時応急措置指針番号

国連の分類基準に該当しない。  
該当法令無し  
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
情報なし  
-

## 15. 適用法令

水質汚濁防止法  
輸出貿易管理令

生活環境項目(施行令第3条第1項)  
「生物化学的酸素要求量(BOD)および科学的酸素要求量(COD)」排水量として、160 mg/L以下(日間平均120mg/L以下)  
「窒素含有量」排水量として、120 mg/L以下(日間平均 60 mg/L以下)  
別表第1の16項(キャッチオール規制)  
第29類 有機化学品 HSコード 2928.00-000「ヒドロキシルアミンの有機誘導体」

## 16. その他の情報

### 主な参考文献

安全データシート(ジメチルグリオキシム)(2018, 昭和化学)  
安全データシート(ジメチルグリオキシム)(2005, 米山薬品)  
安全データシート(ジメチルグリオキシム)(2015, 林純薬)

### 記載内容の取り扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴	2009年 5月 18日	作成
	2019年 5月 27日	改訂(GHS国連文書とJISに対応)